

生成 AI 利用：無
寄稿者名：カノト・エミ
ント：サンプルサンプル
ンプルサンプルサンプル
ンプルサンプルサンプル

志己「文芸」

この文章の始まりとして置いた単語を見て、読んで、あなたは何を思い浮かべただろうか。

文芸部、好きな本、好みの作品を作る著者、書店、図書館、本棚。一般的に思い浮かびそうな単語を並べてみたが、正直なところ、あなたが何を思い浮かべたかはあまり重要ではない。特別何も思い浮かばなかつたとしても構わない。本当に何だっていい。あなたにとつての「文芸」が何であれ、私も、「文芸」も、「文芸」の窮状も何一つ変わらないのだ。

己の志と書き、「シキ」と読むこの文章メディア『志己』は、どんな感情でどんな関わり方でも、身近にいる誰かのように、様々な文章と様々な関わりを持つ生活を広げることを目的としている。

文章は情報を伝達する手段の一つとして使われているが、残せる情報は文字だけであり、必ずしも意図した通りに機能するものではない。書くにあたっても、読んで何かしらを理解しようとするにあたっても、大変な手間と努力を必要とする。「手も時間も脳も体も体力も、全部足りない」と日々嘆く程に、生活を成り立たせるために必要なことも、不満を訴える欲求も、常に積み上がり続いている現代では、手軽な娯楽を好む人々が増えていき、難解そうに見えるもの達への需要が低下していくのも自然な流れだろう。

文芸においてもそうである。様々な文章作品を扱い、作り手が「芸術」を目指した表現の一部、「文芸」として評価し、広く知らしめようとする動きとして、雑誌や団体が掲げて募る賞があるが、現在知られているほとんどの賞は、ライトノベルや文学作品と呼ばれる、物語作品を対象としている。「この文章作品はこの分野において素晴らしいものである」と掲げても、好む人々や注目する人々がいなければ、商業の面であれ、文化の面であれ、利益は大きくならない。利益が上ががらないまま運営し続けるのは、コストの面でも運営者精神面でも無理がある。そないうやつて、発表や評価の機会がなくなつていった結果、書いても広まらず、読も

私が目指す「芸術」は、手軽な文章や楽しめる文章ばかりが望まれる、ある種の怠惰に浸かりきった世界にはないのだ。多様な文章が発信され、それらが広く受納得した。しかし、「文芸」をこの状態で停滞させることも、当然だが、エンター テインメントを提供することを目的としていない「文芸」がより弱っていくのも、許容することはできない。

下段 175mm*110mm

もちろん、枝葉は一人で足りるはずもない。だが、一人であっても枝葉が存在しないことは始まらない。だから、あなたに呼びかけている。私と『志己』は今、あなたに向かって呼びかけている。どれだけ届くかは分からぬ。しかし、届いたのであれば、次への一步に難しいことはない。文章を書く、読む、伝える。できることから関わればいい。

ただ、書いた文章を『志己』に寄稿しようと思つていただけたなら、まずは別紙の「募集要項」を読んでいただきたい。文章との関わりをより良くする文章メディアとして、寄稿に関して定めた条件を記載している。それらを理解、了承の上で寄稿者となつていただけるのであれば、心より歓迎し、誠心誠意向き合おう。

最後になるが、私が『志己』を起こし、文章との関わりを変えようとするのは、あなたのためでも、文芸のためでもないことを誠実に宣言する。私一人が書いても、広めようとしても、変えようとしても、到底足りないのは確かな事実だ。だから、私は私自身の「芸術」のために、あなたとあなたの文章を利用しようとしている。あなたも、あなたの目的のために、私と『志己』を利用してほしい。

もちろん、枝葉は一人で足りるはずもない。だが、一人であつても枝葉が存在しないことは始まらない。だから、あなたに呼びかけている。私と『志己』は今、あなたに向かって呼びかけている。どれだけ届くかは分からぬ。しかし、届いたのであれば、次への一步に難しいことはない。文章を書く、読む、伝える。できることから聞わればいい。

ただ、書いた文章を『志己』に寄稿しようと思つていただけたなら、まずは別紙の「募集要項」を読んでいただきたい。文章との関わりをより良くする文章メディアとして、寄稿に関して定めた条件を記載している。それらを理解、了承の上で寄稿者となつていただけるのであれば、心より歓迎し、誠心誠意向き合おう。

最後になるが、私が『志己』を起こし、文章との関わりを変えようとするのは、あなたのためでも、文芸のためでもないことを誠実に宣言する。私一人が書いても、広めようとしても、変えようとしても、到底足りないのは確かな事実だ。だから、私は私自身の「芸術」のために、あなたとあなたの文章を利用しようとしている。あなたも、あなたの目的のために、私と『志己』を利用してほしい。

ここまで「文芸」の窮状やそれに対する私の不満『志己』を起こす動機を語つたが、これらに言及し、あなたに向けて語つたのは、ただ決意表明をするためではない。あなたを『志己』の一部として巻き込むためである。

け取られ、多様に評価され、洗練され、そしてまた発信されていく。この繋がりが単調に繰り返されるのではなく、繰り返しそのものも洗練されていく。そして、